



減法混色概念図

減法混色とは加法混色の反対の性質を持っており色が混ざる事により元の色より暗くなる混色を言います。

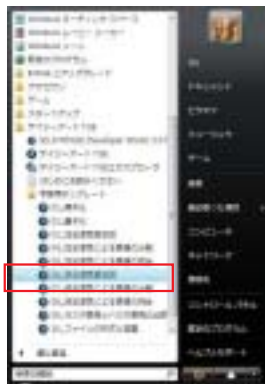
イメージは色のフィルタを重ねたり、絵の具の混色、印刷のインクの混色になり、CMYと呼ばれる色の三原色、シアン(Cyan)、マゼンタ(Magenta)、イエロー(Yellow)から成り立っています。



印刷等に用いる場合には白色素材の表面に印刷することが前提となり、白色インクの併用が必要になる場合もあります。また実際の印刷工程においては三原色全てを混色した場合の色が理想値と異なる為、より自然にする為黒色(墨)インクも併用され、一般に CMYK(Cyan, Magenta, Yellow, Key plate)と呼ばれます。

テンプレートの起動方法

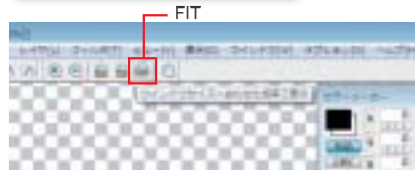
- 1 Windowsのタスクバーにある「スタート」ボタンをクリックします。
- 2 「スタート」メニューの「プログラム」「デイジーアート7SE」「学習用テンプレート」から「減法混色概念図」を選択します。
- 3 「減法混色概念図」を選択すると学習用テンプレートが起動します。



- ④ テンプレートが起動したら「最大化」をクリックし、画面を最大化します。



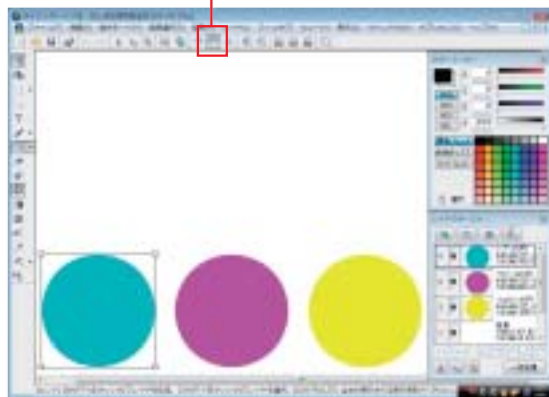
- ⑤ ツールバーの「FIT」をクリックし、テンプレートをキャンバスに合わせます。



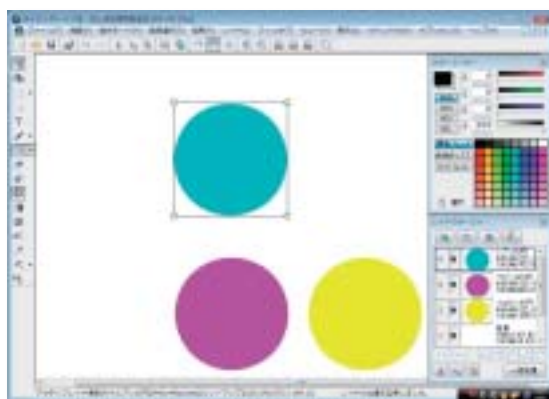
操作手順と方法

- ① ツールバーの「レイヤの位置と倍率」をクリックします。
 [レイヤマネージャのシアン色の円のレイヤをクリックします。
 シアン色の円のレイヤが青い枠で囲まれていることを確認します。レイヤマネージャ内のレイヤが青く囲まれた状態が、そのレイヤを選択していることを示しています。

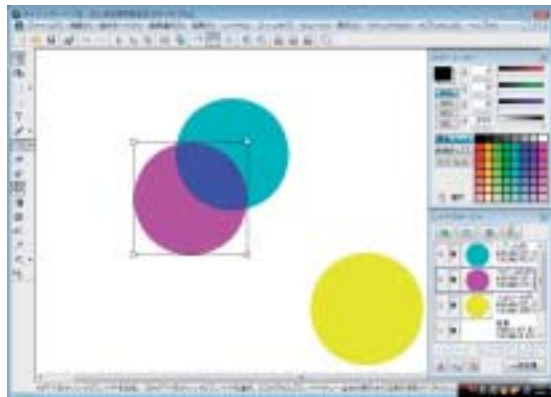
レイヤの位置と倍率



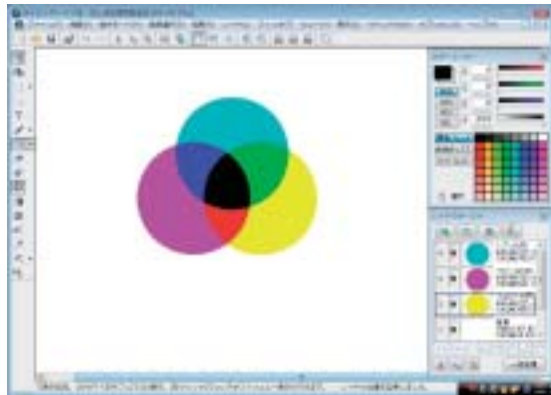
- ② キャンバス上のシアン色の円をドラッグしキャンバスの中央へ移動します。



- 3 次にレイヤマネージャのマゼンタの円のレイヤをクリックして選択します。同様にドラッグをし中央に右図のように移動します。



- 4 最後にイエローの円のレイヤも同じように移動して重ねます。



この3色の円の画像は、予め[減法混色]に変換したものになります。減法混色にした画像を重ね合わせるにより、CMYの表現方法を学習することができます。

減法混色は通常、画面上では再現をすることはできませんが、DaisyArt7SEではキャンバスで疑似的に再現学習することができます。